

平成26年度

創薬講演会

【主催】

先端創薬イノベーションセンター、
文部科学省「創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業」長崎大学創薬拠点

❖ 日時 平成27年3月5日(木) 16:00～17:40

❖ 場所 長崎大学 文教キャンパス
総合教育研究棟 2階多目的ホール

プログラム

❖ 16:00～16:05 開会挨拶
副学長・先端創薬イノベーションセンター長 小守 壽文

❖ 16:05～17:30 講演
『オープンイノベーションによる日本発画期的新薬を目指して
～大学発バイオベンチャーに期待すること～』
塩野義製薬(株) グローバルイノベーションオフィス
シニアフェロー 坂田 恒昭 氏

❖ 17:30～17:40 SHIONOGI Science Program 2014の報告
塩野義製薬(株) グローバルイノベーションオフィス
課長代理 松本 弥生 氏

❖ 17:40 閉会



お申込み

参加ご希望の方は、氏名・所属・連絡先をご記入の上、2/27(金)迄にE-mail
またはFAXで下記へお申込みください。

先端創薬イノベーションセンター 創薬支援室
TEL:819-2230/FAX:819-2189
E-mail:sasa@nagasaki-u.ac.jp

講演内容

『オープンイノベーションによる日本発画期的新薬を目指して ～大学発バイオベンチャーに期待すること～』

最近、製薬業界において新薬創生力の低下が問題になっています。また大手製薬企業では抗体医薬品を代表とするバイオ医薬品へのキャッチアップの問題や医薬品開発のための技術を取ってみても非常に複雑になり高度化しています。これら、複雑化・高度化・多様化した医薬品業界においてはアカデミア、バイオベンチャーとどううまくコミュニケーションをしていくかのオープンイノベーションが重要視されています。

そこで、今回は塩野義製薬株の坂田恒昭氏を講師にお迎えして、大学発ベンチャーに製薬企業が期待することについて講演していただきます。

学生・院生・教職員をはじめ創薬に関心のある方ならどなたでも参加できますので、多数の皆様のご参集をお待ちしています。

講師紹介



坂田 恒昭 氏

塩野義製薬株式会社 シニアフェロー

大阪大学大学院基礎工学研究科 特任教授

1979年大阪大学大学院・理学研究科・生理学専攻修了、
同年塩野義製薬株式会社中央研究所入社

主にインターフェロン γ （製品名：イムノマックス γ ）、インターロイキン2（製品名イムネース）などバイオ医薬品研究開発に従事。その後ゲノム創薬研究を経て、現在同社オープンイノベーション担当。

大阪大学大学院基礎工学研究科・特任教授、神戸大学大学院理学研究科・客員教授、徳島大学産学官連携推進部・客員教授、JST研究開発戦略センターライフサイエンス・特任フェローなどを兼務している。

2014年大阪府薬事関係功労者知事表彰（薬学研究）される。専門は分子生物学、創薬イノベーションであり、日本初の革新的な創薬技術の発掘に努めている。